



おぎの

平成31年2月19日発行
厚木市上荻野8番地
電話 046-241-1454
校長 持丸 茂樹

児童数(2月1日現在)
1年:44 2年:46
3年:71 4年:57
5年:86 6年:75
合計 379名

学校教育目標

たしかな力と 豊かな心をもつ たくましい児童の育成

自然から学ぶ



校長 持丸茂樹

立春を迎えた2月4日、校内には豆まきをする1年生の元気な声が響きわたりました。盤石に見えた冬型の気圧配置が崩れたその日は、気温が一気に上がりました。身も心も春を待ちわびている子どもたちです。4月並みの暖かさの中、半袖で過ごすたくましい姿も見られました。

三寒四温という言葉があります。徐々に暖かい日が増えて春へと変化していくこの時期に、三日寒い日が続いた後に四日暖かい日が続くという意味です。春を予感させる明解な言葉だと思っていましたが、実はこの現象は統計上では意外と起きていないということを知りました。でも、一週間の中で、暖かい日が割合的に増えてくるという意味ととらえれば、**実際には起きなくても春が**一歩一歩近づいていると感じる喜びや希望を表す言葉として、**耳に入る心地よさ**など親しみを覚えます。

季節の移ろいを感じ、自然との触れ合いを重ねる中で、自然は我々にもっと深く考えなさいと諭しているように思うことがあります。日々刻々と変化していく現象や、前にそうだったから今回も必ずそうだという計算は通用しないことなど、**安易な判断を寄せ付けない**威厳があります。深く深く探りを入れていくと、**本当の奥底**にある小さな変化や原因に行きつくこともあります。それにすらたどり着かず、神秘と感ずることもあります。傲慢な気持ちを捨てて**謙虚に寄り添う**ことができ、閉ざされていた扉がほんの少しずつ開かれていくものと気付かされます。

この荻野の地で、子どもたちとともに自然を見つめる機会を得ることができ、それを通して私自身も、この地の自然の豊かさに感銘を受けるとともに多くのことを学ばせてもらいました。

自然とのかかわりは、**私たち人間もその一部として暮らす**こと。そのすべてが、自然の中の現象の一つであり、人と自然、人と動植物、人と人などすべてのかかわりがそれに当てはまるものなのだと実感しています。

子どもたちは、何か珍しいものがあると学校に届けてくれることがあります。先日は、公園で見つけたというアシナガバチの巣が届きました。遊びの最中に見つけたのだと思いますが、何の興味もわかなければ、手に取ることもなかったと思います。手にした子どもには、その手触りや意外と軽いことなど、その場で感じるものがあつたと思います。**五感が刺激**されます。よく見れば、同じ大きさの筒状の部屋が隙間なく規則正しく並べられ、その断面は正六角形であることや材料は何か、作るのにどれくらい時間がかかるのか、もともとどこにあつたのか、どうしてここにあるのか、育つたハチはどうしたのかなど、興味は尽きません。



年齢とともに、興味・関心や生活圏がどんどん拡大していきます。**自然の事象から受ける刺激をじっくり感じ、学び取る**ことができる、今を大事にしたいと改めて思います。

寒さに負けず!

日差しのある日は半そでで校庭を走りまわっている児童を見かけます。子どもは風の子、寒さに負けず元気に頑張っている子どもたちの様子をお知らせします。



《どっこいフェスティバル》



《縄跳び週間》



《スキー教室》



《音楽朝会》

* 2月後半の主な予定 *

- 18日(月)~22日(金) 児童教育相談週間
- 19日(火) 児童朝会
学習室校外学習
PTA愛のパトロール
- 20日(水) 授業参観・懇談会(4~6年)
- 21日(木) 新旧登校班長会議
- 25日(月) クラブ(3年生見学)
- 26日(火) すみれ愛児園との交流会
- 27日(水) 6年生を送る会
遊ゆうタイムS
- 28日(木) 学校運営協議会
卒業式会場設営

* 3月の主な予定 *

- 1日(金) 6年遠足(東京方面)
- 4日(月) クラブ(最終)
- 5日(火) 朝会
- 7日(木) 代表委員会
- 11日(月) 委員会(最終)
- 12日(火) ~18日(月) 大掃除週間
4年おもしろ理科教室
- 13日(水) PTA愛のパトロール
- 14日(木) 卒業式予行練習
- 15日(金) 4年バードウォッチング発表会
- 18日(月) 給食最終日 大掃除
- 20日(水) 卒業証書授与式
- 25日(月) 修了式 5年新年度準備
- 26日(火) ~4月4日(木) 春休み